

令和8年度 年度計画

目 次

I	教育	
	・ 教育内容の充実	…… 1
	・ 教育の質保証	…… 1
	・ 学習環境及び教育環境の充実	…… 2
	・ 附属高校の教育の充実と高大接続の推進	…… 2
II	研究	
	・ 研究力の向上	…… 3
	・ 研究推進体制の充実	…… 3
III	地域連携	
	・ 地域のステークホルダーとの関係構築	…… 4
	・ 地域のシンクタンクとしての機能充実	…… 4
	・ 学び直しの機会の提供	…… 4
IV	国際交流	
	・ 海外の大学との研究・教育交流の充実	…… 5
V	法人運営	
	・ ガバナンス体制の充実	…… 6
	・ 健全で安定的な法人運営	…… 6
	・ 働き方改革の推進	…… 6
	・ 情報発信の推進	…… 6
VI	予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画	…… 7
VII	短期借入金の限度額	…… 7
VIII	重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	…… 7
IX	剰余金の使途	…… 7
X	県の規則で定める業務運営事項	
	施設・設備に関する事項	…… 7
	積立金の使途	…… 7
	その他法人の業務運営に関し必要な事項	…… 7
	(別 紙)	
	令和8年度 予算	…… 8
	令和8年度 収支計画	…… 9
	令和8年度 資金計画	……10

I 教育

<教育内容の充実>

- 学習コモンズ制による少人数対話型教育を通してコミュニケーション能力の向上を図る
 - ・主体性とコミュニケーション能力を育成するため、入門演習・ゼミにおいて学年ごとに段階的に継続的な学びを実施する
 - ・実践的な課題解決能力を身につけるため、ALや自治体・企業等と連携したPBLをゼミ活動やフィールドワーク関連科目等で実施する
 - ・令和7年度新カリキュラムに対応する講義科目をさらに拡充する

- グローバル人材の育成に向けた語学教育の充実を図る
 - ・今後の語学教育のカリキュラム改善に向けた検討を進める
 - ・令和4年度までに整備してきた英語カリキュラムを着実に継続実施する

- 教養教育の一層の充実を図る
 - ・令和7年度新カリキュラムに対応する講義科目をさらに拡充する

- 入学定員増に向けた教育体制の充実を図る
 - ・必要となる教員の確保を進める

- 新たな教育研究組織の設置に向けた準備を行う
 - ・新学科の構想をふまえ、それに則した大学院の在り方について検討する

<教育の質保証>

- FD研修などを通して教員の教育能力向上を図る
 - ・教学IRの取組と連携し、本学の特色をいかしたFD活動を組織的に実施する
 - ・令和7年度より全面実施した授業アンケートを、より効果的なFDに活用する

- 教員組織を充実し教育機能の強化を図る
 - ・令和7年度の自己評価を所属長が評価し、教員にフィードバックさせるとともに、必要に応じ試行版の評価表の改善を行い、正式な多面的評価の仕組みを完成させる

- 学修成果の可視化を行うなど、教学マネジメントの推進を図る

- ・ DP 到達度を測るための調査・分析を行う
- ・ 「学びの設計&ポートフォリオ」等、教育成果と学修成果の可視化を図るためのツールを着実に運用し定着させる

<学習環境及び教育環境の充実>

- 学生生活に対するサポート体制を充実する
 - ・ 履修に関する学生の疑問に答えるため、履修登録期間中に教務委員会による履修相談会を開催する
 - ・ ポートフォリオ等を参照し、担当教員が相談を受け付ける
 - ・ メンタルカウンセリング実施の周知を強化しつつ、学生が相談しやすい環境を整え、利用促進を図る
- 学生の進路選択をサポートする体制を充実する
 - ・ 企業及び自治体でのインターンシップを実施するとともに、学生の就労体験の機会を推進する
 - ・ 就職対策講座、業界研究会や企業説明会を開催し、学生の就職活動支援を行う
 - ・ 令和7年度からの新カリキュラムに合わせて、キャリア教育の体系化の議論を進める
- キャンパス整備を推進する
 - ・ 学生の定員増に伴い、学修環境の整備を行う
 - ・ 教育研究棟(仮称)の建設工事を着実に進捗させる
 - ・ キャンパス整備期間中における屋外運動機会を確保する
 - ・ 附属図書館の整備について、施設整備基本計画に沿って設計業務が実施されるよう、県との協議を進める

<附属高校の教育の充実と高大接続の推進>

- ICT等を活用した主体的な学びや高度な高大連携教育を実施する
 - ・ 生徒の実態を踏まえ、個別最適化された学習プログラムを企画・実施することで、一人一人の進路実現を支援する
 - ・ 「高大連携推進会議」等を通して、「課題探究」、「APプログラム」、「特別推薦制度」等を円滑に実施する

Ⅱ 研究

<研究力の向上>

- 研究水準の向上を図るとともに、研究成果を積極的に公表する
 - ・プロジェクト研究ユニットや受託研究、共同研究による地域の課題解決につながる研究を実施する
 - ・地域創造研究センターと附属図書館が連携し、奈良県立大学リポジトリのコンテンツの充実を図るなど、研究成果の蓄積と発信を行う
 - ・ユーラシア研究センタープロジェクト研究ユニット制度を構築・運用し、ユーラシアを中心とした世界と奈良に関する自主的研究および学際的共同研究を推進する
 - ・奈良を中心とした地域研究の成果を、学会等を通じて海外へ発信する

<研究推進体制の充実>

- 競争的研究資金の獲得等の研究支援組織の充実を図る
 - ・科学研究費補助金等の外部資金獲得を推進する
 - ・公的研究費にかかるコンプライアンス研修を実施する

Ⅲ 地域連携

<地域のステークホルダーとの関係構築>

- 産学公民連携を促進する
 - ・地域の産学公民各団体と連携した調査、研究等を実施する
 - ・企業との共同研究を実施する
 - ・県内自治体等の課題解決に向けた受託研究を実施する

- 教育研究を通じて社会的課題の共有と知的交流を深める
 - ・地域創造研究センターの研究活動に関するシンポジウム等を開催し、地域課題の共有と知的交流を図る
 - ・出前講義を通じて、地域や高等学校などの教育機関等と連携する

<地域のシンクタンクとしての機能充実>

- 地域創造研究センターを通じた活動を充実する
 - ・地域創造研究センターにおいて、地域からの相談を受け付ける
 - ・地域創造研究センターの研究シーズ及び成果を積極的に発信し、地域連携に繋がる取組を促進する
 - ・地域創造研究センターを中心に住民、学外研究者及び行政と連携し、奈良県の南部東部に関する課題検討の場を構築する

<学び直しの機会の提供>

- 地域における生涯学習の拠点として、学び直しの機会を提供する
 - ・奈良県立大学シニアカレッジについて、今後の在り方に係る検討を継続する
 - ・本学教員の地域貢献活動の一環として出前講義を実施する

IV 国際交流

＜海外大学との研究・教育交流の充実＞

- 学生に対する留学相談、情報提供、留学支援制度を充実する
 - ・ 交換留学生に対して、学内及び日常生活でのサポートを行う
 - ・ 学内留学説明会や協定校担当者による留学説明会を実施し、本学留学生制度及び留学準備となるオンライン語学研修を引き続き紹介する
 - ・ 海外協定校と本学からの留学希望学生によるオンラインでの交流会を継続実施し留学交換を推進する
 - ・ 新たな海外大学との協定締結に向けた検討を行う。
 - ・ 国際交流サマースクール2026を実施する

- 海外の大学・研究者との学術交流を促進する
 - ・ 国際セミナー、国際シンポジウムを実施する

V 法人運営

<ガバナンス体制の充実>

- 理事長と学長（副理事長）の連携によるガバナンス体制を充実する
 - ・機動的な法人運営を行うため、学内理事による財務状況等の情報共有を実施する
 - ・学長裁量経費を活用し、教育研究活動を推進する
 - ・教育研究活動に係る情報や財務情報等をホームページで適切に公開する
 - ・法人の効率的かつ効果的な業務運営の執行に寄与するため、正確性や公正性だけでなく3E（経済性・効率性・有効性）の観点も重視した監査を実施する
 - ・法人監事と連携し、法人の業務改善や事業の成果向上に資する監査を実施する

<健全で安定的な法人運営>

- 安定的な財務状況を維持する
 - ・適切な予算配分と目的積立金の効果的な活用により、健全な財政を維持する
 - ・科研費、受託事業等の自主財源の確保を図る

<働き方改革の推進>

- 勤務環境の改善を進める
 - ・県人事交流職員、附属高校教職員及び契約事務職員の人事評価結果を給与へ反映する
- SD研修等により教職員の意識改革を進める
 - ・教職協働や事務職員のスキルアップなどをテーマとしたSD研修を実施する

<情報発信の推進>

- 戦略的な広報を展開する
 - ・SNS等を積極的に活用し情報発信することで本学の魅力を受験生へ伝える
 - ・オープンキャンパスや進学相談会等で受験生との接触機会を増やすことで志願者数の増加に繋げる
 - ・前期及び中期試験の受験生の増加に向けた広報活動を行う
 - ・大学広報誌『Narapu』を通して、教育・研究・地域連携等の取組みと成果を発信する

VI 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画
別紙のとおり

VII 短期借入金の限度額
1億円

VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
なし

IX 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合は、教育・研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる

X 県の規則で定める業務運営事項

1 施設・設備に関する事項

県と連携して、新たな大学整備計画に基づくキャンパスの整備及び修学環境の改善・整備を推進する

2 積立金の使途

前中期目標期間繰越積立金については、教育・研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる

3 その他法人の業務運営に関し必要な事項
なし

(別紙)

予 算

令和8年度 予算

(単位:千円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	438,175
中期目標関連費補助金	641,098
奈良県立大学修学支援補助金	126,289
高等学校等就学支援金	57,500
光熱費高騰対策事業補助金	1,209
高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金	3,000
自己収入	399,207
授業料、入学金及び入学考査料収入	342,634
諸収入	56,573
受託研究等収入	13,000
寄附金収入	2,000
計	1,681,478
支出	
業務費	1,671,478
人件費	1,314,697
教育研究経費(寄附金経費を含む)	286,618
一般管理費	70,163
受託研究等経費	10,000
計	1,681,478

収支計画

令和8年度 収支計画

(単位:千円)

区 分	金 額
支出の部	1,706,891
経常費用	1,706,891
業務費	1,611,315
教育研究経費(寄附金経費を含む)	286,618
受託研究等経費	10,000
人件費	1,314,697
一般管理費	70,163
減価償却費	25,413
収入の部	1,706,891
経常収益	1,706,891
運営費交付金収益	438,175
授業料収益	281,637
入学金収益	42,553
入学検定料収益	18,444
受託研究等収益	13,000
寄附金収益	2,000
補助金収益	829,096
雑益	81,986

資金計画

令和8年度 資金計画

(単位:千円)

区 分	金 額
資金支出	1,681,478
業務活動による支出	1,681,478
資金収入	1,681,478
業務活動による収入	1,681,478
運営費交付金収入	438,175
授業料等収入	342,634
受託研究等収入	13,000
その他収入	887,669